

40周年に向けて50年前のお話し

JM1LZT/富山

240グループが間も無く40周年とのことで、ここまでグループを支え続けてこられた諸先輩方には、ただただ脱帽するとともに、感謝にたえません。

実は、無線とは別に、私の長年の趣味と呼べそうなものに音楽があります。残念ながらクラシックなどといった高尚なものではなく、ロック、フォークなどと呼ばれているジャンルに属するものを、長年聞いたり演ったり（典型的下手の横好き）しています。

たまたま去年から今年にかけての期間が、それらのジャンルの「歴史的な名盤」と呼ばれるレコード（もちろんCDではありません）が多数世に出た時期から50年目にあたっており、240グループの結成より、さらに10年前、1968～70年ごろの音源のデジタルリマスター盤や未発表テイク盤がこここのところ多数リリースされています。

240の方々が20～30代の頃は、どんな音楽を聞かれていましたか？

私が最近入手したCDをざっとご紹介しますと…

ザ・ビートルズ「ホワイトアルバム」

ジミ・ヘンドリクス「エレクトリックレディランド」

ザ・ローリングストーンズ「ベカーズバンケット」

いずれもオリジナルは1968年に発売されたもので、50周年ということで、リマスター、未発表テイク満載のボックスセットです。そう安くはないので、正直なかなか痛いところではありますが、「あのアーティストの未発表テイクが聞ける」というのは、サイフの紐を緩める魔力を持っているようで、アマゾンからしょつ中荷物が届

く日々だったりなかったりしています^^;

実際に聴いてみると、テクノロジーの進歩には驚かされることばかりで、とても半世紀前の録音とは思えない高音質で従来の音源や未発表テイクを聞いていると、今は 21 世紀であることにあらためて気づかされます。

今年は 1969 年から 50 年目にあたり、さらにリリースラッシュが予定されています。はっきりしているところでは、ビートルズの「レットイットビー」の時期の新たな未発表フィルム 50 時間分と音源 140 時間分が見つかったとかで、長年再上映も DVD の発売もされていなかったレットイットビーの「新盤・新版」が世に出るようです。

また、はっきりは予告されてはいませんが、「アビーロード」も 1969 年発売の超重要作品ですから、何が出てくるかドキドキです。

かつて「不良の音楽」の烙印を押されていたロック関係の作品が、半世紀という時間の中で、淘汰・熟成され、「おとなの鑑賞に堪える」作品として 21 世紀に陽の目を見るとするのは、感慨深いものがあります。

温故知新。歴史を辿る旅は、「自分史」を辿ることでもありそうです。私も年齢的には新しいことより古いことにばかり興味が行きがちではありますが、これらの作品の「再発見」を機に、「明日への」一手を考えていきたいと思います。

ちなみに、ビートルズのメンバーは、1940～43 年生まれで、240 の諸兄と同年ぐらいかもしれません。42 年生れのポール・マッカートニーはいまだに精力的にワールドツアーを続けており、来日する度に東京ドームで私に元気を与え続けてくれています、まるで 240 の諸兄のように。